

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)12月12日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24019(個有)

発信者名:宇野、川村^智

JA 東びわこイチゴ部会で「みおしずく」目合わせ会を実施

12月5日、JA 東びわこイチゴ部会目合わせ会が開催され、部会員 17 名と関係者 9 名が参加しました。令和6年産「みおしずく」の生育経過について情報提供し、出荷規格だけでは判断が難しい色味や形について、生産者・JA・卸売市場・県担当者で確認しました。

今年度、湖東地域では1法人と11名の農業者が「みおしずく」を栽培され、11月末から収穫が始まりました。当課は普及指導計画に基づき月に2回程度各施設を巡回し、株づくりのための管理、病害虫防除等の指導を行いました。

最初に、当課から9月中旬の本ぼ定植から収穫までの経過と害虫被害や芯どまり株、乱形果の発生状況について説明しました。芯どまり株、乱形果の対策として今年度、湖東管内で実施している調査研究の中間報告を行い、今般、改訂された「みおしずく栽培指針 Ver.3」のポイントについて説明しました。

目合わせでは、部会員が持ち寄った「みおしずく」を見ながら、出荷規格の徹底と時期ごとの着色率、カラーチャートによる色味を参加者全員で確認し、JA 東びわこおよび(株)長浜合同青果の担当者から、フィルムの張り方やテープの必要性が周知されました。

併せて、県内量販店で開催予定の「みおしずく」PR イベントに部会として積極的に参加することや、令和7年産苗の募集について部会で集約することを申し合わせました。

今後も、関係機関と連携し、「みおしずく」をはじめとするイチゴの安定生産と生産拡大に向けて支援していきます。



本ぼ定植から収穫に至る経過を説明



果実の色味や形を確認